

令和5年度事業報告 旧小澤家住宅

○ 新潟市文化財旧小澤家住宅 33,668,394 円

1 文化事業 1,398,427 円

指定管理の受託事業者として旧小澤家住宅の設置目的に基づき、常設展示とともに企画展事業や教育普及事業などを積極的に開催し、来館者の増加に努めた。

なお、通常の開館時や事業の開催時、団体見学があった時など、その時々状況に合わせてボランティアの皆さんからガイドを行っていただいた。

【旧小澤家住宅の設置目的】

市文化財に指定された旧小澤家住宅を活用し、みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する。

(1) 常設展示・企画事業 606,425 円

【常設展示】

旧小澤家住宅の概要と小澤家の来歴、そして「みなとまち新潟」の歴史や生活文化について、グラフィックパネルで紹介した。

【企画事業】

新潟町の歴史に関連した企画展や旧小澤家住宅の雰囲気と風合いに合わせた日本の伝統的な工芸品展などを開催した。

① 「新潟歴史玉手箱」展

期間 令和5年4月1日(土)～5月7日(日)

市内の街中で何気なく目にする胸像や石碑等、見過ごされがちな事物・事象を取り上げ、歴史を掘り起こし紹介した。

観覧者数 1,328名(有料 1,177名・無料 151名)

② 「端午の節句飾り」展

期間 令和5年4月28日(金)～5月13日(土)

小澤家に伝わる兜など、端午の節句に合わせた飾りを展示した。

観覧者数 815名(有料 698名・無料 117名)

③ 「老舗料亭 行形亭の器」展

期間 令和5年5月20日(土)～6月25日(日)

新潟の食・もてなしの文化を支え伝えてきた料亭の老舗「行形亭」で使われた器や資料を展示紹介した。

観覧者数 1,664名(有料 1,446名・無料 218名)

④ 「みんなの問題・海のごみ」展

期間 令和5年7月15日(土)～7月30日(日)

一般社団法人 JEAN(クリーンアップ全国事務局)との共催。

海洋ごみ問題への関心の普及啓発のため、東日本大震災と漂着ゴミについてのパネルを展示した。

市内でビーチコーミングをしている富川氏より、新潟の浜に流れ着いた漂着物を借用し展示した。8月31日（木）まで。

観覧者数 471名（有料 392名・無料 79名）

⑤ 桜井進一氏写真展「七夕まつり・復興まつり」展

期間 令和5年7月5日（水）～8月27日（日）

桜井進一氏が撮影した七夕まつりと、新潟大火からの復興を祈念した復興祭りの写真を展示紹介し、往時の姿を回顧した。

観覧者数 1,651名（有料 1,406名・無料 245名）

⑥ 生誕140年「安宅安五郎」展

期間 令和5年9月9日（土）～9月24日（日）

新潟市の画家安宅安五郎の生誕140年を記念して、その足跡の一端を紹介した。

観覧者数 792名（有料 682名・無料 110名）

⑦ 新潟郵趣会展「絵はがきと年賀状―時代と共に生きる切手の世界―」

期間 令和5年9月30日（土）～10月9日（月・祝）

明治期以降の切手・絵葉書・年賀状を通し、当時流行したデザインなど郵趣の魅力の一端を紹介した。

観覧者数 380名（有料 323名・無料 57名）

⑧ 企画展「新潟仏壇工芸」展

期間 令和5年10月14日（土）～11月5日（日）

新潟仏壇組合の協力を得て、新潟市の伝統的工芸品である新潟仏壇と、それに係る工芸について紹介した。また、池坊による生け花の展示も行った。

観覧者数 1,722名（有料 916名・無料 806名）

⑨ 「みなとまち新潟の芸と風土」

期間 令和5年10月25日（水）～11月26日（日）

市内の各施設と連携して、新潟の歴史を紹介する資料を展示した。

観覧者数 2,152名（有料 1,276名・無料 876名）

⑩ 「伊勢型紙の世界」展

期間 令和5年11月18日（土）～令和6年1月21日（日）

日本の染色技法のひとつ「型染」で用いられる「型紙」。その文様の豊かさと魅力を紹介した。

観覧者数 1,504名（有料 1,206名・無料 298名）

⑪ 「ひな人形とからくり人形」展

期間 令和6年2月17日（土）～3月24日（日）

小澤家や近隣に伝わるものをはじめ、江戸時代以降のひな人形と、江戸時代のからくり人形を展示した。

観覧者数 1,508名 (有料 1,330名・無料 178名)

(2) 教育普及事業 94,023円

旧小澤家住宅を通して新潟の歴史や文化に関する「学び」と「楽しみ」を提案するため、様々な催し物の開催とともに体験学習を実施した。

① 講演会「街角の銅像・記念碑を楽しむ」・・・4月23日(日)

「新潟歴史玉手箱」展にあわせて、本井晴信氏を講師に、街角の銅像や記念碑についての解説を聞いた。

② 古文書講座・・・6月7日(水)、14日(水)、21日(水)、11月8日(水)、15日(水)、22日(水)

本井晴信氏を講師に、初心者向けの古文書講座を開講した。

③ 庭園講習会・・・6月25日(日)、11月25日(土)

旧小澤家住宅の庭園の管理をしている長生園の田辺良夫氏を講師に、松の剪定等の技術を学んだ。

④ 生誕140年「安宅安五郎」展 記念イベント「講演会と歌の集い」・・・9月17日(日)

生誕140年「安宅安五郎」展にあわせて、美術研究者山浦健夫氏による「安宅安五郎と新潟市」をテーマにした講演会、ソプラノ歌手笹原美香氏による独唱会、遠州流二野一千社中による生け花の展示を開催した。

⑤ 新潟仏壇工芸ワークショップ・・・10月15日(日)・22日(日)・29日(日)・11月3日(金・祝)

「新潟仏壇工芸」展の関連企画として、伝統工芸士による蒔絵実演、職人指導によるワークショップ(金具打ち・蒔絵塗)を開催した。

⑥ 重陽の節句のアレンジメント・・・10月21日(土)

アトリエ tazymazy の長谷川京子氏を講師に、重陽の節句にあわせた菊のアレンジメント作り体験を行った。

⑦ クリスマスからお正月まで使える苔玉作り・・・12月2日(土)

アトリエ tazymazy の長谷川先生を講師に、飾りを変えてクリスマスからお正月まで使える苔玉を制作した。

⑧ 冬囲い作業の公開・・・12月2日(土)

毎年行っている庭園の冬囲い作業を来館者に公開し、見学可能とした。

⑨ 稲穂で作る正月飾り・・・12月3日(日)

新潟アグリクラフトの協力を得て、稲穂など自然の素材を使った正月飾りを作った。

⑩ 稲わらで作るひな人形・・・2月17日(土)

新潟アグリクラフトを講師に、自然の素材を使ったひな人形を製作した。

⑪ からくり人形の実演・・・3月5日(日)

越後大郷からくり館の館長・日根之和氏を講師に、からくり人形の実演を行った。

- ⑫ フラワーアレンジメント ワンディレッシン・・・3月10日（日）

「花で彩る」の関連企画。1日限りのフラワーアレンジメント教室を開催した。

- ⑬ ボランティアガイド事業

旧小澤家住宅のボランティアガイドに館内の案内をお願いした。

- (3) 施設普及事業 616,704円

旧小澤家住宅での様々な楽しみ方を提案するため、お月見やお正月など時候に合わせた「しつらい」とともに催し物を実施した。

国際課による翻訳テキストを元に、リーフレットの英語版、中国語（簡体字）版、韓国語版、フランス語版、ロシア語版を新たに作成した。

また、事業取組の参考とするため、来館者ニーズのアンケート調査を実施した。

- ① 藤見煎茶会・・・5月14日（日）

藤の季節にあわせて、煎茶会を開催した。

- ② かえるまつり・・・6月1日（木）～6月30日（金）

今年も6月6日の「かえるの日」に合わせて、職員ら有志が持ち寄った蛙をモチーフにした置物、ぬいぐるみ、手拭いや絵本などを展示した。

福祉事業所が作成したさをり織りのポーチ「かえるちゃん」や、かえるクッキーなどかえるグッズの販売も行った。

- ③ 夏至祭・・・6月18日（日）

夏至の日にあわせて、毎年恒例の「夏至祭」を開催した。

かき氷や焼き菓子、カクテルやコーヒーといった飲食物やお花の販売を行い、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止していたアルコールの提供も再開した。

- ④ 旧小澤家住宅 おやつの日・・・7月8日（土）、8月12日（土）

市内の飲食店を招いておやつの販売を行った。（旬果甘味店ルコト、柿の木珈琲店）

こはく会による、唄と三味線と踊りのライブと、新潟まつりに向けた佐渡おけさと新潟甚句の講習会も開いた。

- ⑤ 立川志の彦 落語口演会・・・7月15日（土）

落語家の立川志の彦氏を招いて、子ども向けと大人向けの落語会を開催した。

- ⑥ たねをまく朝ごはんと昼ごはん会 ちいさな量り売りマーケット・・・7月30日（日）

新潟の農家・お店の野菜やスープやパンの量り売りを行った。今回は「みんなの問題・海のごみ」展にあわせてプラスチックをテーマにし、ビニール袋の代わりに新聞紙の袋や持参したタッパーを利用するなどした。

新潟の食材を使用した少人数の朝ごはん・昼ごはん会も開催した。

- ⑦ 文化の日 無料公開・・・11月3日（金・祝）

文化の日にちなみ、新潟市内の文化施設とともに入館料を無料とした。

- ⑧ 旧小澤家住宅 秋の文化祭・・・11月23日（木・祝）

今回 8 回目のイベント。一日限定 BAR を台所に設置し、情報案内所ではパンや焼き菓子の販売を行った。刺繍や蠟燭作りのワークショップ、お花の販売や、こはく会による唄と三味線と踊りのライブも行った。

⑨ 年忘れ煎茶会・・・12月3日(日)

煎茶道東阿部流による年末の煎茶会を開催した。

⑩ コーヒー等の販売・・・12月9日(土)、23日(土)、1月13日(土)、20日(日)、2月24日(土)、3月30日(土)

新潟市内のコーヒーや焼き菓子やパンや焼き芋、小物の販売店を招き、来館者への販売を行った。

⑪ たねをまくレストラン 冬のお粥御膳と甘味・・・2月12日(月・祝)

冬の食材で作ったお粥やおぼんざい、甘味やお汁粉を提供し、厳しい冬を乗り越えてきた先人の知恵や、新潟の冬の恵みについて旬果甘味店ルコトの店主に解説していただいた。

⑫ 箏と尺八の演奏会・・・2月23日(金・祝)

「ひな人形とからくり人形」展にあわせて、箏と尺八による春らしい曲の演奏会を開催した。

⑬ 市民企画フラワーアレンジメント「花で彩る」・・・3月2日(土)～3月10日(日)

アトリエ tazymazy の協力により、通り土間をフラワーアレンジメントで彩った。

⑭ ミニ展示

通り土間や茶の間に、氷コップや豆ランプ、ステンドグラスや人形などを展示した。

(4) 調査研究事業 3,156 円

みなとまち新潟に対する市民の理解を深めるため、小澤家文書や小澤家より寄贈された資料を調査した。

「旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会」に賛助会員として参加した。

(5) 収蔵資料保存管理事業 78,119 円

資料の仮整理・収蔵作業を行った。

2 文化施設管理受託事業 32,269,967 円

指定管理の受託事業者として新潟市文化財旧小澤家住宅の適正な維持管理運営を行い、来館者および利用者へのサービスの向上に努めた。

※ 令和 5 年度 旧小澤家住宅入館者数

令和 5 年度	目標 14,000 人
---------	-------------

13,809 人 (対前年度比 103% 微増)

○ 旧小澤家住宅の 付帯事業 23,304 円

旧小澤家住宅では、新潟漆器、ふろしき、書籍などを受託販売し、季節に合わせてこまめに商品の入れ替えを行っている。

箸置き、手ぬぐい、トートバッグ、Tシャツ、マグカップなどオリジナル商品の開発・販売にも力を入れている。令和5年度は食品営業許可を取得し、通年で飲食品の販売を行えるようになった。